



白鷹町立荒砥小学校だより

# たくまっ子

平成28年11月15日発行 第14号



## 学ぶ喜びと誇りを感じて…

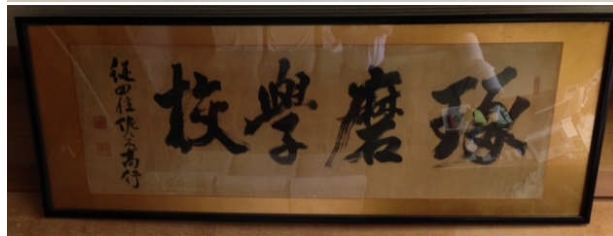
～ 第145周年 創立記念式 ～

校長 齋藤芳昭

明治4年に「荒砥郷校」として産声をあげた本校ですが、去る11月10日、145周年の創立記念式を行いました。山形県下で、最も古い歴史を持つといわれる荒砥小学校の長い歴史に思いを巡らし、学校に感謝するに日いたしました。

学校の歴史に思いを馳せる話題として、式辞の中で「校章」について触れてみました。開校こそ早いものの、校章が制定されたのは昭和38年。当時本校職員であった後藤輝夫先生が図案化したこと。校章の中央にある「琢」という文字は、明治政府の役人であった佐々木高行卿から贈られた「琢磨学校」に由来し、その語源「切磋琢磨」は、中国最古の『詩経』の中にある「骨は切り、象牙は磋(と)ぎ、玉は琢(う)ち、石は磨(みが)く」にあることを話しました。玉や石を磨くように、自らの知恵や人間性をいっそう鍛え、「有用の材」となるべく磨き上げてほしいと願っています。

遥かな時を経て、学校黎明期の頃とは比較にならないほど、「もの」社会は豊かになり、子どもたちを取り巻く環境もまた良くなりました。創立記念日となる今日、なにに不自由なく生活できることに心から感謝し、また、歴史と伝統ある琢磨学校で学ぶことができる喜びと誇りを感じながら一日を送りたいと思います。



校是 「琢磨」 知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材トレ  
かしこく つよく えがお輝く たくまっ子

# 創立記念日を祝って

児童代表

6年 大木 真緒

今年、荒砥小学校は145周年をむかえました。荒砥小学校の創立記念式は、私にとって今年が最後になるので、どんなことをすればお祝いできるのか、改めて考えてみました。

まず、「感謝の気持ちを伝えること」です。

例えば、「学校をきれいに使うこと」もその一つです。今年度、大規模改修で学校のいろいろな所がきれいになっています。夏休み明け、ピカピカにきれいになっている教室を見て、2学期もがんばろうという気持ちになりました。このきれいな校舎を大切にしていくために、私達ができることはたくさんあります。みなさんは、机を運ぶ時、引きずらないように持って運んでいますか。そうじの時、すみずみまではいたり、ふいたりしていますか。こぼしてしまったり、汚してしまったりした時、すぐにきれいにしていますか。このような小さなことを心がけていくだけでも、校舎を大切に守っていくことができるはずですよ。

また、体育館や廊下などのいろいろな所に、先輩たちが残した思い出がたくさんあります。それらには、卒業生の荒砥小学校を大切に思う気持ちが込められていると思います。ですから、「今までの卒業生のみなさんが受け継いできた伝統を守っていくこと」も、お祝いの一つになると思います。

今年度も、荒砥小学校ではあいさつに力を入れています。「伝わるあいさつ」をすることをめあてに、今まで取り組んできました。毎朝のあいさつ運動をふり返ってみると、あいさつ強調週間には、みんながあいさつを返してくれて、「あいさつをしよう」という気持ちが伝わってきてうれしくなりました。しかし、それ以外の時は、あいさつを返してくれる人もいますが、してくれない人が増えて、がっかりしてしまいます。全校生みんなが、いつでも、だれとでも伝わるあいさつをかわせるようになってほしいです。私も、みんなのお手本となれるようなあいさつを心がけていきたいと思っています。そして、これからの後輩のみんなに「こんなふうになりたい」と思ってもらえるように、自分達から行動して、よりよい荒砥小学校を目指していきたいと思っています。

## 輝け! たくまっ子!

内藤秀因記念第19回水彩画公募展				くん
入	選	1年	岡本 誠	さん
	"	1年	松村 琴音	さん
	"	5年	渡辺 琴音	さん

JA山形おきたま絵画コンクール				
金	賞	4年	野中 愛	さん
銀	賞	2年	守谷 桜	さん
銅	賞	4年	小林千里子	さん

梅津五郎芸術賞・第2回全国絵画公募展				
入	選	1年	後藤 叶友	くん
	"	2年	荒川 獅恩	くん
	"	2年	安部 心陽	さん
	"	2年	工藤 華蓮	さん
	"	2年	横山 美月	さん
	"	3年	石井 勝斗	くん
	"	3年	松田 青輝	くん
	"	4年	鈴木 健祐	くん



## 11月の予定

11/	18(金)	休業日(白鷹町教職員研修会のため)
	22(火)	授業参観・PTA研修会
	23(水)	●勤労感謝の日
	24(木)	読書デー・全校算数テスト
	25(金)	学校保健委員会
12/	7(水)	学校集金日
	9(金)	学校評議員会